

Question: 10



腹臥位にはどのような効果があるのでしょうか？

ベテランからの Answer



**重症呼吸不全患者の酸素化改善と  
生命予後の改善に効果が期待できます。**

**解説**

ARDS（成人呼吸窮迫症候群）ガイドラインにおいて、P/F比100以下の重症例では、腹臥位を行うことが推奨されていて、死亡率が下がることも報告されています。ARDS患者に対する腹臥位管理実施割合の国際調査では、735名のARDS患者のうち、13.7%（101名）が腹臥位管理を実施されています<sup>25)</sup>。腹臥位前後のP/F比の改善が認められ、腹臥位は背臥位よりも、肺内の換気を均等に行えることが一因と考えられています。下表に重症例における腹臥位の効果の機序をまとめます。一方で、酸素化が良い例では、このような効果は得られないため、ヘッドアップから端坐位へと離床を進めることを意識しましょう。

→ 離床完全マニュアル 2 P.25



**腹臥位が有用である生理的根拠**

- ・ 障害された背側肺に多く分布した血流が健常な肺に再分布される
- ・ 肺全体が均等に換気されるため、肺胞の圧損傷を予防できる
- ・ 横隔膜の圧迫を受けない
- ・ 心臓の圧迫を受ける左下葉の換気改善
- ・ 気道分泌物の排出促進



**これは危険**

**重症例は顔の褥瘡に注意**

COVID-19により、人工呼吸器管理下で16時間以上腹臥位を行った患者さんについて、褥瘡の発生リスクの調査が報告されています<sup>26)</sup>。褥瘡の発生は重症度が高いほど多く、褥瘡は頬骨・顎など顔面に発生していたということです。多臓器に障害のある重症例に対する腹臥位では、顔面の褥瘡に対するケアを強化する必要があります。頻繁に除圧することや、圧分散のクッションを入れるなどの対策を検討しましょう。